

第2回 いきいきプラン八王子推進委員会

日 時 平成 22 年 10 月 22 日 (金) 午前 10 時 00 分
会 場 八王子市役所 602 会議室

日 程

1. 委員長あいさつ

2. 議題

(1) 平成 22 年度計画実施状況 (平成 22 年 9 月末日時点) について 資料 1

3. その他

平成22年度いきいきプラン八王子進捗状況

No.	行動内容	進捗状況	
		5月末	9月末
1	住民懇談会の開催	B	B
2	高齢者サロン活動・子育てサロン活動の拡充障がい者サロンの検討・実施	A	A
3	サロン活動連絡会の設置	B	A
4	ひとりぐらし高齢者昼食交流会	B	A
5	支えあいの仕組みづくりの検討	A	B
6	ビジネス手法を取り入れた地域活動活性化の検討	B	C
7	地域福祉活動入門講座の開催	B	B
8	テーマ別ボランティア講座の開催	B	B
9	世代別ボランティア講座の開催	B	B
10	サロン活動担い手養成講座の開催	-	-
11	ボランティアリーダー養成講座の開催	B	A
12	地域福祉活動コーディネートの充実	B	C
13	よろず相談の開催	-	-
14	防災福祉マップづくり	-	-
15	地域防災訓練の開催	-	-
16	災害時支援ボランティアコーディネーターの育成	B	C
17	会員会費を徴収した地域圏に一定割合を還元	B	D
18	団体及び企業会員区分の新設	B	C
19	新任理事・評議員への研修体系の確立	B	A
20	(理事会・評議員会の) 議論の活性	B	B
21	理事・評議員会の選出区分や選任数の見直し	A	B
22	経営管理理事の見直し	B	C
23	地域福祉推進協議会の設置や部会の再編	B	C
24	本会における指定管理者制度受託のあり方検討委員会の新設	B	B
25	事務局体制の改編及び現行事業の見直し	B	C
26	コミュニティソーシャルワーカーの任命	B	C
27	地域福祉活動推進員の配置	B	C
28	権利擁護(含む成年後見支援)センターの設置	A	B
29	後見監督業務の実施	A	A
30	他界後の事務支援の検討	A	B
31	拠点のあり方について検討	B	C
32	研修制度の充実	B	B
33	共に育つ職場づくり	B	B
34	人事管理	B	B
35	「特定寄付制度」「メモリアル寄付」の創設やメニューづくり	B	B
36	身近に気軽に寄付・募金できる環境整備	B	B
37	住民が主体的に募金するシステム構築	B	B
38	事業収入の強化	B	C
39	収益事業の拡大	B	B
40	内部けん制の強化	B	A
41	情報公開の強化	B	C
42	トップマネジメント力の強化	B	B

いきいきプラン八王子推進委員会進捗状況評価基準

<評価基準>

評価	判断基準
A	・ 順調なもの ・ 問題がないもの
B	・ 概ね順調なもの ・ 評価時点で多少の遅れ等があるが、今年度末までに計画の実現が可能なもの
C	・ 計画の内容が、今年度末までに達成することが困難なもの
D	・ 検討が必要なもの
E	・ 事業の見直しが必要なもの

担当部署	地域福祉推進課 地域福祉推進担当
------	------------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
1	住民懇談会の開催	開催方法の検討・モデル地区で開催（3か所6回）	開催 (6か所12回)	開催 (12か所24回)	開催 (24か所48回) →
区分	第1部 地域福祉活動計画 平成22年度事業計画書	23ページ 31ページ	行動項目 平成22年度予算書	住民懇談会の開催 23ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	年度															
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
22年度	3か所 6回開催	開催地域圏の選定（推進委員会で決定）		↔														
		開催方法の検討			↔													
		要綱整備				↔												
		開催3か所6回					↔											
		新) 開催地域圏の選定																↔

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的な内容	北部地域をモデル圏域に決定			11日													
		町自連会長、事務局長、加住連合会長、東北部連合会長へモデル圏域設定の経緯説明・協力依頼を実施				9日												
		東北部連合町会の会合へ出席しプランの説明と協力依頼を実施									9日							
		民協会長・副会長、6、12地区会長及び6、12地区民生委員へプランの説明とモデル圏域決定の経緯説明、協力依頼を実施						24日	3日									
		→ 石川町を懇談会開催町として決定																
		包括左入支え合いのネットワーク会議でプランの説明と懇談を実施								22日								
		北部圏域の登録ボランティア、サロンスタッフとの懇談										26、29日						
		成果	モデル地区とした北部圏域内の町会や民生委員、ボランティア、サロン団体等へプランの説明と協力依頼を行い、おおむねプランの趣旨、方向性については理解が得られた。これらについては、常に包括支援センター左入と行動を共にし、社協と左入が常に連携し地域づくりに取り組む姿勢を発信できた。住民懇談会の候補町として「石川町」を決定することができた。															
現在の問題点	各種団体への説明や協力依頼を慎重に行ったため、やや遅れが出ている。また、民生委員の改選と地区変更の関係から、12月以降に本格的な動きを求める声もあった。																	

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
B	B	

進捗区分 (年度総括)

担当部署	地域福祉推進課 地域福祉推進担当
------	------------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
3	サロン活動連絡会の設置	検討	検討・開催	開催	開催
区分	第1部 地域福祉活動計画 25ページ	行動項目	サロン活動の拡充		
	平成22年度事業計画書 20、21ページ	平成22年度予算書	21ページ		

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	年度														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
2 2 年 度	連絡会設置に向け 共通認識を得る。	高齢者サロン団体交流会の実施				↔									↔		
		子育てサロン団体交流会の実施				↔											
		連絡会設置に向けた準備会の開催														↔	
		連絡会設置要綱の検討														↔	

②進行管理

2 2 年 度	取り組んだ具体的内容	進捗状況														
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
	包括南大沢エリアのサロン情報交換 (包括南大沢と協働)						26日									
	包括片倉エリアのサロン情報交換 (包括片倉と協働)							29日								
	包括左入エリアのサロン情報交換 (包括左入と協働)								29日							
	成果	地域包括のエリアごとの情報交換を、包括と協力して行うことができた。このような小規模な交流会を通じた情報収集、発信、活動上の課題の整理など、地域特性も踏まえた中で以前よりきめ細かくできた。プランの概要説明も兼ねることができた。														
	現在の問題点	南大沢や片倉は、包括の主導によりサロンの情報交換の場が作られた。今後、社協と包括が連携した中で、エリア内のサロン交流会を共同で企画・実施できるよう働きかけを強化する。														

進捗状況		
22年度 (年度末達成見込)		
5月末	9月末	2月末
B	A	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	福祉総務課 事業担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
4	ひとりぐらし高齢者昼食交流会	実施	実施 開催方法の検討・充実	充実	充実 →
区分	第1部 地域福祉活動計画	25ページ	行動項目	サロン活動の拡充	
	平成22年度事業計画書	13ページ	平成22年度予算書	16～17ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	年度															
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
22年度	民生委員・児童委員協議会16地区・22会場で実施	開催依頼・案内状配布実施 (16地区22会場)					↔			↔								

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	開催依頼・案内状配布実施 (16地区22会場)					↔			↔							
	成果	民生委員児童委員協議会の協力のもと、10月の開催に向けて準備をすすめているところである。															
	現在の問題点	平成22年12月の民生委員児童委員改選に伴い、民協地区数が16地区から20地区へ増加する。地区数の増加に伴い平成23年度以降の開催回数・経費の増加が見込まれる。参加者数の増加により、地域内での会場確保が難しくなっている。															

進捗状況		
22年度 (年度末達成見込)		
5月末	9月末	2月末
B	A	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	地域福祉推進課 地域福祉推進担当
------	------------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
5	支えあいの仕組みづくりの検討	先進地域間の情報交換の実施	仕組みづくりのためのマニュアル作成	啓発	啓発 →
区分	第1部 地域福祉活動計画	26ページ	行動項目	小地域福祉活動の活性化	
	平成22年度事業計画書	30ページ	平成22年度予算書	24ページ	

①具体的な行動内容

年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	月														
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
22年度	団体相互の情報交換会の実施				↔											
	みつい台ふれあいの会との情報交換				1回目の情報交換会実施時に、次回以降の開催を決定											
	片倉台福祉ネットワーク			↔												
	館町団地福祉支援ネットワーク			↔												

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	みつい台ふれあいの会との情報交換		↔									
		片倉台福祉ネットワークとの情報交換		23日				9日					
		諏訪団地との情報交換							2日				
	成果	個別に情報交換を行ってきたが、一同に会して行う交流会についてそれぞれの団体も希望を持っていた。中核となろう片倉台福祉ネットワークのスタッフからは、広く市民へ向けた支え合い活動のPRを、例えばリーフレットの作成やシンポジウムの開催など、共に協働して取り組むことに前向きな姿勢をいただいた。情報交換を通じて、新たに活動を始めた自治会の情報も得られた。											
	現在の問題点	市内における同類活動の状況把握が少し遅れた。(館町団地福祉支援ネットワーク 11月13日予定)											

進捗状況		
22年度 (年度末達成見込)		
5月末	9月末	2月末
A	B	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	地域福祉推進課 地域福祉推進担当
------	------------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
6	ビジネス手法を取り入れた地域活動活性化の検討	具体的方法の検討	モデル活動として実施	充実	充実 →
区分	第1部 地域福祉活動計画	26ページ	行動項目	小地域福祉活動の活性化	
	平成22年度事業計画書	40ページ	平成22年度予算書	24ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3															
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
22年度	情報交換会を開催し、その結果をまとめ次年度活動へ反映	地域参加支援に関する情報交換 ・シルバー人材・市民活動センター サイバーシルクロード・センター元気 市協働推進課との情報交換により 情報収集を図る。			←													→
		23年度モデル活動実施における条件整備																

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	地域参加支援に関する情報交換			17日				16日									
		地域の交流拠点となるコミュニティカフェについての意見交換			16日	1日			1日									
	成果	子育てサロン「ゆうゆうクラブ」がNPO法人（子どもの居場所 どんぐり分校）を取得したことから、新たな活動展開について意見交換を行った。地元の保育園も参加し地域の誰もが利用できる居場所づくりーコミュニティカフェの設置について検討を行っている。																
	現在の問題点	居場所となる拠点の確保が未解決なため、運営資金、体制の整備、協働の在り方の検討も未実施																

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
B	C	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	地域福祉推進課 地域福祉推進担当
------	------------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
7	地域福祉活動入門講座の開催	講座内容の検討	開催	開催	開催 →
区分	第1部 地域福祉活動計画	31ページ	行動項目	地域福祉活動担い手講座などの開催	
	平成22年度事業計画書	31ページ	平成22年度予算書	24ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			22年度	ボランティア活動推進協議会：4回	ボランティア活動推進協議会での検討				↔		↔			↔
	ボランティア推進協議会で講座内容を確定	23年度事業計画												↔

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	ボランティア活動推進協議会の開催				30日			20日							
	成果															
	現在の問題点	今後、要望講座に対する情報収集に努め、企画・立案・開催に向けた検討をしたい。														

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
B	B	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	地域福祉推進課 地域福祉推進担当
------	------------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
8	テーマ別ボランティア講座の開催	講座内容の検討	開催	開催	開催
区分	第1部 地域福祉活動計画	31ページ	行動項目	地域福祉活動担い手講座などの開催	
	平成22年度事業計画書	ページ	平成22年度予算書	ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			22年度	ボランティア活動推進協議会での検討				↔		↔			↔	
	ボランティア活動推進協議会：4回													
	ボランティア推進協議会で講座内容を確定	23年度事業計画												↔

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	ボランティア活動推進協議会の開催				30日			20日					
	成果													
	現在の問題点	今後、要望講座に対する情報収集に努め、企画・立案・開催に向けた検討をしたい。												

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
B	B	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	地域福祉推進課 地域福祉推進担当
------	------------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
9	世代別ボランティア講座の開催	講座内容の検討	開催	開催	開催
区分	第1部 地域福祉活動計画	31ページ	行動項目	地域福祉活動担い手講座などの開催	
	平成22年度事業計画書	ページ	平成22年度予算書	ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			22年度	ボランティア活動推進協議会での検討				↔		↔			↔	
	ボランティア活動推進協議会：4回													
	ボランティア推進協議会で講座内容を確定	23年度事業計画												↔

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	ボランティア活動推進協議会の開催				30日			20日					
	成果													
	現在の問題点	今後、要望講座に対する情報収集に努め、企画・立案・開催に向けた検討をしたい。												

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
B	B	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	地域福祉推進課 地域福祉推進担当
------	------------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
10	サロン活動担い手養成講座の開催	—	講座内容の検討	開催	開催
区分	第1部 地域福祉活動計画 31ページ	行動項目	地域福祉活動担い手講座などの開催		
	平成22年度事業計画書 20, 21ページ	平成22年度予算書		21ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	進捗状況														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
22年度	サロン交流会を継続実施し、連絡会設置の共通認識を得る	※23年度、連絡会組織を立ち上げ、講座内容の検討を行う。															

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容																
	成果																
	現在の問題点																

進捗状況		
22年度 (年度末達成見込)		
5月末	9月末	2月末
—	—	

進捗区分 (年度総括)	
-------------	--

担当部署	地域福祉推進課 地域福祉推進担当
------	------------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
11	ボランティアリーダー養成講座の開催	講座内容の検討・開催	開催	開催	開催
区分	第1部 地域福祉活動計画	31ページ	行動項目	地域福祉活動のコーディネート機能の充実	
	平成22年度事業計画書	35ページ	平成22年度予算書	24ページ	

①具体的な行動内容

年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	年度												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
22年度	2回開催			↔							↔			
	ボランティア推進協議会で講座内容を確定				↔	↔		↔						↔

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	地区ボランティアリーダー・サブリーダー会の開催 講演：精神障がい者に対する理解と支援について ボランティア活動推進協議会の開催				26日												
	成果	精神障がい者をサポートするボランティア活動の在り方について学習できた。いきいきプラン八王子の概要説明を地区リーダーへ説明し周知できた。																
	現在の問題点																	

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
B	A	

進捗区分 (年度総括)	
----------------	--

担当部署	地域福祉推進課 地域福祉推進担当
------	------------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
12	地域福祉活動コーディネートの充実	人材の発掘・育成	充実	充実	充実 →
区分	第1部 地域福祉活動計画	31ページ	行動項目	地域福祉活動のコーディネート機能の充実	
平成22年度事業計画書		ページ	平成22年度予算書		ページ

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	年度													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
22年度	人材の発掘・育成	リーダー養成講座			↔							↔				
		住民懇談会や支え合いの仕組みづくり等を通じて、人材を発掘・育成														
		モデル地区における検討と配置														
		※行動計画No. 27と連動														

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容														
	成果														
	現在の問題点	町会（住民）、民協、ボランティア等とプランに対する共通認識を形成している段階であり、今後の地域の実情や課題を住民と共に探る過程において、地域の中の理解と承認のもと人材を発掘していくため、時間を要する。 行動計画No. 27の地域福祉活動推進員の配置後、数度の会合を経た後、検討していく内容である。													

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
B	C	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	地域福祉推進課 地域福祉推進担当
------	------------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
13	よろず相談の開催	—	内容の検討	開催 地域圏ごとに年6回	開催 地域圏ごとに年12回
区分	第1部 地域福祉活動計画	32ページ	行動項目	見守り・相談機能の充実	
	平成22年度事業計画書	ページ	平成22年度予算書	ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	年度														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
22年度	23年度検討事項																

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容															
	成果															
	現在の問題点															

進捗状況		
22年度 (年度末達成見込)		
5月末	9月末	2月末
—	—	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	地域福祉推進課 地域福祉推進担当
------	------------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
14	防災福祉マップづくり	—	住民懇談会のテーマとして検討	住民懇談会を母体に順次実施	住民懇談会を母体に順次実施 →
区分	第1部 地域福祉活動計画	33ページ	行動項目	防災への取り組み	
	平成22年度事業計画書	ページ	平成22年度予算書	ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	年度													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
22年度	23年度検討事項															

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容															
	成果															
	現在の問題点															

進捗状況		
22年度 (年度末達成見込)		
5月末	9月末	2月末
—	—	

進捗区分 (年度総括)	
-------------	--

担当部署	地域福祉推進課 地域福祉推進担当
------	------------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
15	地域防災訓練の開催	—	住民懇談会のテーマとして検討	住民懇談会を母体に順次実施	住民懇談会を母体に順次実施 →
区分	第1部 地域福祉活動計画	33ページ	行動項目	防災への取り組み	
	平成22年度事業計画書	ページ	平成22年度予算書	ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画																
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
22年度	23年度検討事項	八王子市総合防災訓練への参加 (11/23)										↔						

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容																
	成果																
	現在の問題点																

進捗状況		
22年度 (年度末達成見込)		
5月末	9月末	2月末
—	—	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	福祉総務課 総務担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
17	会員会費を徴収した地域圏に一定割合を還元	具体的方法の検討・規程整備	実施 (2地域圏)		実施 (4地域圏)
区分	第2部 社協発展・強化計画	44ページ	行動項目	社協会員制度	
平成22年度事業計画書		平成22年度予算書		ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
22年度	会員会費の使途が見えやすくし、市民にとって理解しやすい・加入しやすい会費制度づくり	理解されやすく・加入しやすい会費制度の検討			←	→										
		還元方法や影響の検討			←	→										
		実施体制の検討・整備			←						→					
		モデル地区の予算化を補助													←	→

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容															
	成果															
	現在の問題点	市民にとって会費の活用のされ方が今まで以上に「見える化する」ことによって、会員会費の仕組みがより理解され、加入が促進すると考えている。そのためには、会費を納入いただいた地域でその多くが有意義に活用されることが大事であるが、地域圏の福祉展開を束ねる「地域福祉推進協議会」が出来ていない現状においては、還元方法や活用の仕方について、社協事務局で検討することは時期尚早ではと考えている。今は、会員会費の大部分を地域に還元できるようにするため、会費に頼らない事業運営や会費に代わる財源確保について、検討する時期ではないかと考えている。														

進捗状況		
22年度 (年度末達成見込)		
5月末	9月末	2月末
B	D	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	福祉総務課 総務担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
18	団体及び企業会員区分の新設	具体的方法の検討・規程整備	実施 (22年度加入団体数比10%増) →		
区分	第2部 社協発展・強化計画	44ページ	行動項目	社協会員制度	
平成22年度事業計画書		ページ		平成22年度予算書	
		ページ		ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	進捗状況														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
22年度	団体・企業会員会費制度づくり	団体・企業会費制度の検討（事務局段階）			←	→											
		会員会費あり方委員会の設置・運営					←	→									
		提言・実施方法の決定・規程等の整備										←	→				
		市民に分かりやすく広報														←	→

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容																
	成果																
	現在の問題点	団体・企業会費制度を検討するために、会員会費あり方委員会の設置に向けて市内にある団体・企業等の効果的な選定方法を模索中で、設置に至っておらずスケジュールに遅れが出ている。															

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
B	C	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	福祉総務課 総務担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
19	新任理事・評議員への研修体系の確立	具体的方法の検討・研修体制整備・実施（理事一斉改選）	充実 (評議員一斉改選)	充実 (理事一斉改選)	充実 (理事一斉改選) →
区分	第2部 社協発展・強化計画	46ページ	行動項目	理事会・評議員会のあり方	
平成22年度事業計画書		ページ	平成22年度予算書		ページ

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	進捗状況														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
22年度	自立した経営体制や市民ニーズに則した運営体制づくり	理事・監事の改選 (8/16)					↔										
		新任役員への新任研修開催					↔										

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	理事・監事の改選 (8/16)					↔									
		就任時役員研修会開催 (8/16)					↔									
	成果	新任の役員が集う、初めての理事会の開催前に「就任時役員研修会」を、東京都社会福祉協議会松田地域福祉部長から「社会福祉協議会の役割と今後の課題」を、その後、本会小林福祉総務課長から「本会の沿革や概要、今後の展開について」を1時間以上の時間を掛け、研修した。役員からは活発な質問や意見交換がなされ、改めて社協への市民参画の意義やその役割について認識を深めていただいた。これまで以上に積極的に本会運営に携わっていただけると考える。														
	現在の問題点															

進捗状況		
22年度 (年度末達成見込)		
5月末	9月末	2月末
B	A	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	福祉総務課 総務担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
20	(理事会・評議員会の) 議論の活性化	具体的方法の検討・実施	充実	充実	充実
区分	第2部 社協発展・強化計画	46ページ	行動項目	理事会・評議員会のあり方	
	平成22年度事業計画書	ページ	平成22年度予算書	ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	進捗状況													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
22年度	自立した経営体制や市民ニーズに則した運営体制づくり	具体的な取組の検討(事務局段階)			←	→										
		活性化の検討(理事会・評議員会)					←	→								
		取組の実施(理事会・評議員会)							←							→

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	分かりやすい資料作成や説明、的を絞った提案を図る															→
		理事会・評議員会への参加率向上のため、開催日の2ヶ月以上前に告知する															→
	成果																
	現在の問題点	評議員会は人数も多く、気軽に発言できる環境ではないと現状考える。その中で、自発的かつ建設的な議論が生まれる環境整備に向けて検討中です。															

進捗状況		
22年度(年度末達成見込)		
5月末	9月末	2月末
B	B	

進捗区分(年度総括)	

担当部署	福祉総務課 総務担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
21	理事・評議員会の選出区分や選任数の見直し	具体的方法の検討・関係団体との調整	必要に応じて実施 →		
区分	第2部 社協発展・強化計画 46ページ	行動項目	理事会・評議員会のあり方		
平成22年度事業計画書		平成22年度予算書		ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	年度															
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
22年度	自立した経営体制や市民ニーズに則した運営体制づくり	次回の評議員改選を見据えて検討（事務局段階）			←		→											
		上記の検討の結果、方向性を定める					←		→									
		必要に応じて、関係団体と調整							←									→

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	理事の選出区分の見直し実施（行政枠の廃止）															→	
		監事の選出区分の関係団体との調整		←		→												
		監事の選出区分の見直し議案議決 （学識経験者→社会福祉施設経営者に変更）		←		→												
		監事の選出区分の見直し実施（8/16～）																→
	成果																	
	現在の問題点	12月の民生委員の一齐改選に伴う、本会役員及び評議員の選出区分や選出数について、十分な議論が行われていない。																

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
A	B	

進捗区分 （年度総括）	

担当部署	福祉総務課 総務担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
22	経営管理理事の見直し	具体的方法の検討・関係団体との調整	必要に応じて実施 →		
区分	第2部 社協発展・強化計画	46ページ	行動項目	理事会・評議員会のあり方	
平成22年度事業計画書		ページ	平成22年度予算書		ページ

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			22年度	自立した経営体制づくり	具体的方法の検討			←	→					
		非常勤の正副会長の検討												
		専任の常務理事の検討												

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容														
	成果														
	現在の問題点	人件費に係る部分もあり、自主財源が乏しい本会にとっては、早々に結論が出ない。													

進捗状況		
22年度 (年度末達成見込)		
5月末	9月末	2月末
B	C	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	福祉総務課 総務担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
23	地域福祉推進協議会の設置や部会の再編	具体的方法の検討・規程整備	実施 (2地域圏福祉推進協議会設置)		実施 (4地域圏福祉推進協議会設置)
区分	第2部 社協発展・強化計画	47ページ	行動項目		部会・委員会等のあり方
	平成22年度事業計画書	ページ	平成22年度予算書		ページ

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
22年度	地域の社会資源とのネットワークを駆使しながら、相互の支えあうことによって、住民の生活課題を解決していく組織体の立ち上げ準備	具体的な取組の検討（事務局段階）		↔													
		具体的な取組の検討（いきいき段階）			←											→	
		モデル地域の内定（いきいき段階）									↔						
		モデル地域福祉推進協議会準備会の立上・開催										←					→
		具体的な取組の検討（モデル地域段階）										←					→
		新年度予算作成（モデル地域段階）														↔	

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的な内容	具体的な取組の検討（事務局段階）	↔													
		部会の廃止														→
		北部圏域をモデル圏域に決定		↔												
		町自連会長、事務局長、加住連合会長 東北部連合会長へモデル圏域設定の経緯説明・協力依頼を実施			↔											
		東北部連合町会の会合へ出席しプランの説明と協力依頼を実施								↔						
		民協会長・副会長、6、12地区会長及び6、12地区民生委員へプランの説明とモデル圏域決定の経緯説明、協力依頼を実施								↔						
		包括左入支え合いのネットワーク会議でプランの説明と懇談を実施								↔						
	成果	地域福祉推進協議会による地域の包括的な支援体制を確立するため、の設置を進めていくことを前提として、対象分野別に協議をする場である部会を廃止した。関係機関としての団体に対し、いきいきプランでの取組みを更に調整を図ることと共に、地域からのニーズを把握できる体制作りのための説明を展開した。														
	現在の問題点	地域における関係機関や団体に対し、その全てに対し理解をいただけるまでにはまだ時間を要するため、遅れが生じている。 現在は、計画の趣旨を関係団体に理解を求めている段階だが、今後具体的に協力を求めていくにあたって、住民懇談会を前面に進めていくべきか、地域福祉推進協議会を前面に進めていくべきか、方針を明確に打ち出せずにいる。 更に、その後の調整で重要な要素となってくる、拠点確保の点について、検討が進んでいない。 拠点に関する部分が不明瞭なため、地域福祉推進協議会設置にかかる費用も見込みを立てられずにいる。														

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
B	C	

進捗区分 （年度総括）

担当部署	学童保育課 学童総務担当 ・ 福祉総務課 事業担当
------	---------------------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
24	本会における指定管理者制度受託のあり方検討委員会の新設	具体的方法の検討・規程整備(学童保育所第1期指定期間終了)	設置答申(恩方老人憩の家・長房ふれあい館第2期指定期間終了)	実施	実施
区分	第2部 社協発展・強化計画	50ページ	行動項目	指定管理者制度への対応	
平成22年度事業計画書			平成22年度予算書		

①具体的な行動内容

年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3															
		22年度	検討委員会の発足準備														
	準備委員会の発足・会議日程の決定(学童)		←	→													
	検討課題の整理・取りまとめ				←												→
	情報収集				←							→					
	検討委員会資料作成													←	→		
	規程作成															←	→
	検討委員の構成についての検討															←	→
	学童・事業担当間の調整				←												→

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	5.27準備委員会発足		←	→													
		9.10第1回準備委員会開催(検討課題整理)								←	→							
		9.28第2回準備委員会開催(検討課題整理)									←	→						
	成果	5月に主査職及び学童総務担当主任からなる準備委員会を発足。その後、次期選定に係る諸作業のため活動はできなかったが、9月に準備委員会を2度開催し、23年度検討委員会開催に向けた、課題及び準備作業の抽出を行なった。																
	現在の問題点	会議日程については、早急に決定し始動する。現在、8月期までは学童保育所の選定応募時期に重なっているため、計画の遂行が体制的に困難となる可能性がある。																

進捗状況		
22年度(年度末達成見込)		
5月末	9月末	2月末
B	B	

進捗区分(年度総括)	

担当部署	福祉総務課 総務担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
25	事務局体制の改編及び現行事業の見直し	具体的方法の検討・規程整備・実施（地域福祉推進課設置）	充実	充実	充実
区分	第2部 社協発展・強化計画	54ページ	行動項目	新たな事務局体制	
	平成22年度事業計画書	ページ	平成22年度予算書	ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3															
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
22年度	組織改編	ボランティアセンターの位置づけを地域福祉支援課から地域福祉推進課へ	←														→	
		各担当業務の問題点の抽出・検討			↔					↔			↔					
		各事業の事務作業の見直し	←															→
		各ラインでの廃止事業等協議実施				↔					↔			↔				
		コミュニティワーカーの配置準備等											↔					
		既存事業の見直しの方法を検討			↔						↔							
		既存事業の見直し決定					←											→

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	ボランティアセンターの位置づけを地域福祉支援課から地域福祉推進課へ 各担当業務の問題点の抽出・検討 各事業の事務作業の見直し 各ラインでの廃止事業等協議実施															
	成果	既に北部圏域に対する働きかけを行うものの、現状での人員配置がままならない状況下である。よって、早急に担当者を配置し、適宜情報を把握しつつ地域調整に当たることとする。なお、事務局における組織の分割化による連携強化をどの様に改善するかも、新たな課題となっており、さらに問題が深刻化しているのも事実であるがプランを優先することを目的に取組む。															
	現在の問題点	各担当レベルで現行事業の今後の方向性を検討しているが、廃止や規模縮小の方向性を打ち出しても、関係者・団体との調整が必要となるものが多く、本格的な調整を行うまでには至ったものは多くない。6圏域のコミュニティソーシャルワーカーを選任するためにも、事業担当者を地域福祉推進課へ配属していく必要があるが、事業のスクラップが思うように進んでいないため、今後の人材配置に遅れが生じることが懸念される。															

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
B	C	

進捗区分 （年度総括）

担当部署	地域福祉推進課 地域福祉推進担当
------	------------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
27	地域福祉活動推進員の配置	具体的方法の検討・実施（モデル地域圏に配置）	実施 （1地域圏に配置）	実施 （4地域圏に配置）	充実 →
区分	第2部 社協発展・強化計画 54ページ	行動項目	新たな事務局体制		
平成22年度事業計画書 29, 30ページ		平成22年度予算書		23ページ	

①具体的な行動内容

年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		22年度 具体的検討と配置	モデル地区における検討と配置 ※住民懇談会や支え合いの仕組みづくり等を通じて、人材を発掘									←	
設置要綱の整備										←			→
※行動計画No. 12と連動													

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	北部圏域での町会や民生委員、既存の活動等へのプラン説明と協力依頼を重ねている。												
	成果	プランの概要や北部圏域をモデル地区としたことに対して、おおむね了解をいただいている。												
	現在の問題点	町会（住民）、民協、ボランティア等とプランに対する共通認識を形成している段階であり、今後の地域の実情や課題を住民と共に探る過程において、地域の中の理解と承認のもと人材を発掘していくため、時間を要する。												

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
B	C	

進捗区分 （年度総括）	

担当部署	福祉総務課 総合相談担当
------	--------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
28	権利擁護（含む成年後見支援）センターの設置	具体的方法の検討・規程整備・設置・実施（既存運営委員会にて検討）	充実	充実	充実
区分	第2部 社協発展・強化計画 57ページ	行動項目	権利を擁護する体制の確立		
	平成22年度事業計画書 47・50ページ	平成22年度予算書	33・36ページ		

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	月														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
22年度	権利擁護センター設置	設置内容の検討															
		設置規程の検討															
		実際の設置に向けた協議															

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	センター発足の日程を検討（事務局段階） 発足時期の再検討														
	成果															
	現在の問題点	権利擁護センターの名称を用いて業務を実施した場合の職員体制や業務内容等の再検討を委託元より求められたため、発足時期を再検討することとした。														

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
A	B	

進捗区分 （年度総括）	

担当部署	福祉総務課 総合相談担当
------	--------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
29	後見監督業務の実施	具体的方法の検討	要領等の整備実施	充実	充実
区分	第2部 社協発展・強化計画	57ページ	行動項目	権利を擁護する体制の確立	
	平成22年度事業計画書	ページ	平成22年度予算書	ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3															
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
22年度	後見監督業務の実施	市民後見人のフォローアップ研修		←													→	
		市民後見人推薦のための規程整備								←								→
		実施のための規程整備								←								→

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	フォローアップ研修内容を職員会議で検討		↔														
		研修の一環として市民後見人を生活支援員に登録		↔														
		フォローアップ研修の実施								←								→
		地権の生活支援員として活動								←								→
	成果	市民後見人が後見人を受任した場合、社協は後見監督を実施するが、22年度はフォローアップ研修（地権支援員の活動も含む）を実施している。																
	現在の問題点																	

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
A	A	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	福祉総務課 総合相談担当
------	--------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
30	他界後の事務支援の検討	具体的方法の検討	必要に応じて実施 →		
区分	第2部 社協発展・強化計画	57ページ	行動項目	権利を擁護する体制の確立	
平成22年度事業計画書		ページ	平成22年度予算書		ページ

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			22年度	他界後の事務支援の検討	運営委員会で実施方法の検討									

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容														
	成果														
	現在の問題点	運営委員会ででの検討に向けた、事前調査研究への着手には至っていない。													

進捗状況		
22年度 (年度末達成見込)		
5月末	9月末	2月末
A	B	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	福祉総務課 総務担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
32	研修制度の充実	具体的方法の検討・研修体系や基準整備・実施	充実	充実	充実 →
区分	第2部 社協発展・強化計画	64ページ	行動項目	人材育成の仕組みづくり	
	平成22年度事業計画書	ページ	平成22年度予算書	ページ	

①具体的な行動内容

年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3																
		22年度	全職員が一定の人材育成の方向性に基づく研修体系の整備化・実施			←												
	目指すべき職員像・職員に求められる能力の職員への周知			←														→
	研修体制の体系化検討・実施			←														→
	職員情報のデータベース作成			←														→
	基本研修の体系化（主査研修）・実施			←														→

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	入職前研修の実施（4月1日採用）3/30予定																		
		区市町村社協新任研修		→																
		福祉職階層別新任研修		→	→															
		労務管理実務研修			→															
		会計基礎実務研修				→														
		精神保健研修				→														
		対人援助技術研修					→													
		主査職全員を人権研修に参加させる（職層に応じた研修体系の確立に向						→												
		入職前研修の実施（10月1日採用）									→									
		福祉職階層別中堅職員研修										→								
		区市町村社協中堅職員研修（11/4.5予定）											→							
		成果	基本研修や実務研修を内部・外部の研修を利用して、職員を参加させ、職員の資質向上を図った。																	
現在の問題点																				

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
B	B	

進捗区分（年度総括）	

担当部署	福祉総務課 総務担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
33	共に育つ職場づくり	具体的方法の検討・実施体制整備・実施	充実	充実	充実 →
区分	第2部 社協発展・強化計画	64ページ	行動項目	人材育成の仕組みづくり	
	平成22年度事業計画書	ページ	平成22年度予算書	ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3															
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
2 2 年度	共に育つ職場づくりの基礎作り	職場研修（OJT）の推進	←														→	
		担当を超えたOJTの実施				←												→
		上記の実施に向けた対象事業の選定			↔													
		組織目標の設定			↔													
		組織目標の共有化方法の検討・実施			←													→
		組織目標に基づく担当や職員毎の行動計画や実施方法の検討			↔													

②進行管理

2 2 年度	取り組んだ具体的な内容	毎月主査以上の職員による検討会開催																→	
		担当毎の朝のミーティング																	→
		担当外職員の教育支援資金研修会への参加																	→
		担当外職員の教育支援資金研修会開催																	→
	成果	上司や先輩職員との意見交換の場を定期的に行うことによって、情報共有や組織目標を各職員がより自覚するようになった。また、繁忙期に担当外職員が応援することが日常化し、相互に刺激し合い、意欲的な学習の場や良好なコミュニケーションの場になっているとともに、効率的な組織運営に寄与している。																	
	現在の問題点	依然として、正規職員や非常勤嘱託職員、臨時職員といった職種間の意識のズレや委託事業従事職員のセクショナリズムは存在している。																	

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
B	B	

進捗区分 (年度総括)

担当部署	福祉総務課 総務担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
35	「特定寄付制度」「メモリアル寄付」の創設やメニューづくり	具体的方法の検討・実施体制整備・実施	充実	充実	充実
区分	第2部 社協発展・強化計画	67ページ	行動項目	財務	
平成22年度事業計画書		ページ	平成22年度予算書		ページ

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	進捗状況													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
22年度	寄付者の意向が伝わる寄付制度づくり	寄付者の意向が伝わる寄付制度の検討			←	→										
		寄付受入や実施体制の検討・整備			←	→										
		メニュー化など市民に分かりやすく広報										←	→			

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	メモリアル寄付の創設															→
		広報活動を通しての寄付文化の醸成															
	成果	7月のメモリアル寄付の創設から、2カ月余りで2件のご寄付をいただいた。寄付をしていただける動機づけや一歩として一定の効果を生んだ。															
	現在の問題点	寄付行為は、文化活動の一種であり、その浸透や定着には時間が掛かる。															

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
B	B	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	福祉総務課 総務担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
36	身近に気軽に寄付・募金できる環境整備	具体的方法の検討 (広報活動・募金箱設置など)・実施体制整備・実施	充実	充実	充実
区分	第2部 社協発展・強化計画	67ページ	行動項目	財務	
平成22年度事業計画書		ページ	平成22年度予算書		ページ

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	年度														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
22年度	身近に気軽に寄付・募金ができる環境整備	寄付者の意向が伝わる寄付・募金制度の検討			←	→											
		寄付・募金受入や実施体制の検討・整備			←							→					
		メニュー化など市民に分かりやすく広報											←	→			

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	赤い羽根共同募金の運動初日に高尾山にて街頭募金を実施 市長をはじめ、市の職員に募金呼び掛け メールマガジンを発刊し募金配分報告									→					
	成果	市民に接する機会が多い、市長をはじめ市職員が赤い羽根を着用することにより、募金活動の浸透を図った。 街頭募金については、募金機会の提供だけではなく、本会のPRにもつながった。														
	現在の問題点															

進捗状況		
22年度 (年度末達成見込)		
5月末	9月末	2月末
B	B	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	福祉総務課 総務担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
38	事業収入の強化	具体的方法の検討・関係者との調整	必要に応じて実施	充実	充実
区分	第2部 社協発展・強化計画	67ページ	行動項目	財務	
平成22年度事業計画書		平成22年度予算書		ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	22年度													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
22年度	本会事業収入の適正価格への移行準備	現行の事業収入の収入単価の根拠検討			←	→										
		早急に適正化が必要な事業収入の選定				←	→									
		適正化に必要な手続きの検討						←	→							
		利害関係者との調整									←	→				

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容															
	成果															
	現在の問題点	利用料などの値上げに対しては、利用者のみならず担当職員の抵抗が強く、検討のテーブルすら設けられていない。 社協日より広告料の適正化についても議論ができていない。														

進捗状況		
22年度 (年度末達成見込)		
5月末	9月末	2月末
B	C	

進捗区分 (年度総括)	
-------------	--

担当部署	福祉総務課 総務担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
39	収益事業の拡大	具体的方法の検討・関係団体への働きかけ	実施	実施	実施 →
区分	第2部 社協発展・強化計画	67ページ	行動項目	財務	
平成22年度事業計画書		ページ	平成22年度予算書		ページ

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画															
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
22年度	自己財源の確保	自販機設置事業の民有地への拡大を検討			←	→											
		実施方法の検討・整備			←							→					
		市民に分かりやすく広報											←	→			
		その他、財源確保につながる収益事業の研究											←	→			

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	飲料水6台・写真1台の自動販売機の更新入札を実施して手数料率が増加する															→	
		八王子駅南口再開発ビルをはじめ公共スペースでの自動販売機の増設を要望																→
		自販機設置事業の民有地への拡大を検討																→
		自動販売機にAED併設（差別化を図る）																→
		自動販売機に大規模な本会ラッピング仕様施す（差別化を図る）																→
	成果	飲料水の自動販売機では次のとおり手数料率がこれまでよりも増加した。橘原パーク駐車場（約17%）、市役所庁舎9階（12%）、市役所庁舎2階（17%）、八王子駅北口地下駐車場（9%）。また、写真の自動販売機でも5.4%手数料率がこれまでよりも増加した。これら手数料率の増加により、百万円程度の収入増加が見込まれる。																
現在の問題点	公共施設の管理が、指定管理者制度によるものが主流となり、自動販売機の設置を含めて運営受託者が行うことが一般的となり、新たな設置場所確保が難しい状況にある。また、民有地への拡大もノウハウがなく事業展開に苦慮している。																	

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
B	B	

進捗区分 （年度総括）

担当部署	福祉総務課 総務担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
41	情報公開の強化	具体的方法の検討	実施	充実	充実 →
区分	第2部 社協発展・強化計画	69ページ	行動項目	財務管理	
平成22年度事業計画書		ページ		平成22年度予算書	
				ページ	

①具体的な行動内容

	年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	月													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
22年度	利用者のニーズに則した福祉サービスの提供	調査対象とする事業の抽出			←	→										
		アンケート実施方法の検討				←	→									
		アンケート実施								←	→					
		アンケート結果の公開・課題点の改善											←	→		

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容															
	成果															
	現在の問題点	これまで、各事業の評価については、法人全体としての方法や基準が存在しておらず、主に管理職が予算作成時に独自の方法や基準で判断していた。今後、「経営の集中と選択」を行う上で、事業評価の役割や重要性がますます高まると思われるため、この実施方法や基準について法人として整理や検討を行う必要がある。特に、その評価については、利用者や市民を関与させ客観性を高めるとともにその評価結果を公開して透明性を高める必要があるが、現在、検討のテーブルすら設けられていない。														

進捗状況		
22年度（年度末達成見込）		
5月末	9月末	2月末
B	C	

進捗区分 (年度総括)	

担当部署	福祉総務課 総務担当
------	------------

No	行動内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
42	トップマネジメント力の強化	具体的方法の検討・関係団体との調整	必要に応じて実施 →		
区分	第2部 社協発展・強化計画	69ページ	行動項目	財務管理	
平成22年度事業計画書		ページ	平成22年度予算書		ページ

①具体的な行動内容

年度別活動が達成された状態	具体的な取組計画	年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
22年度 自立した経営体制づくり	具体的方法の検討			←		→							
	三役会の議論強化	←											→
	非常勤の正副会長の検討												
	専任の常務理事の検討												

②進行管理

22年度	取り組んだ具体的内容	監事の選出区分の見直し議案議決 (学識経験者→社会福祉施設経営者に変更)	←	→										
		監事の選出区分の見直し実施(8/16~)												→
		総務部会の廃止→三役会の役割の明確化・強化												→
	成果	8月16日の役員一斉改選に伴い、監事にこれまで学識経験者(会社経営)が就任いただいていた枠に、市内の社会福祉施設の施設長の団体である「八王子施設長会」から1名の監事に就任いただく形に改め、社会福祉事業精通者に就任いただくことによって、より現実に則した参考となるアドバイスをいただき、合理的かつ無駄のない運営体制の確立に寄与する。また、総務部会を廃止することによって、経営上の重要な事項については三役会を唯一の検討の場とすることによって、責任ある執行体制の確立に寄与する。												
	現在の問題点	経営理事枠の確立については、人件費に係る部分もあり、自主財源が乏しい本会にとっては、早々に結論が出ない。												

進捗状況		
22年度(年度末達成見込)		
5月末	9月末	2月末
B	B	

進捗区分 (年度総括)	

平成22年度～平成25年度の収支見込み

1. 社会福祉協議会収入見込み（自主財源分収入）

科 目		内 訳	H22	H23	H24	H25
会費	会費		17,900,000	17,000,000	16,500,000	16,000,000
	ういず会費		3,660,000	3,953,000	4,111,120	4,275,000
寄付	寄付金		13,084,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
会計単位繰入金収入	恩方老人憩の家管理運営事業		83,000	83,000	83,000	83,000
	長房ふれあい館管理運営事業		664,000	664,000	664,000	664,000
	生活安定化総合対策事業		714,000	714,000	714,000	714,000
	住宅手当事業		718,000	718,000	718,000	718,000
	自動販売機設置事業		5,836,000	5,836,000	5,836,000	5,836,000
	証明写真機設置事業		650,000	650,000	650,000	650,000
	経理区分繰入金収入					
	地域福祉事業		2,757,000	2,757,000	2,757,000	2,757,000
	地域生活支援事業		684,000	684,000	684,000	684,000
	生活福祉資金貸付事業		1,000	1,000	1,000	1,000
	福祉サービス総合支援事業		2,139,000	2,139,000	2,139,000	2,139,000
	成年後見活用あんしん生活事業		357,000	357,000	357,000	357,000
共同募金配分金収入	一般配分金収入		1,498,000	0	0	0
歳末募金配分金収入	歳末募金収入		9,424,000	9,424,000	9,424,000	9,424,000
事業収入	参加費収入（ういず）		10,000	10,000	10,000	10,000
	参加費収入（恩方）		369,000	369,000	369,000	369,000
	参加費収入（長房）		808,000	808,000	808,000	808,000
	家事援助利用料		16,176,000	16,176,000	16,176,000	16,176,000
	福祉サービス利用援助利用料		1,546,000	1,546,000	1,546,000	1,546,000
	施設利用料収入		4,950,000	4,950,000	4,950,000	4,950,000
	広告料収入		493,000	493,000	493,000	493,000
	手数料収入（実習生）		99,000	69,000	69,000	69,000
	手数料収入（ボラ保険）		116,000	116,000	116,000	116,000
助成金収入	助成金収入		372,000	372,000	372,000	372,000
受取利息配当金収入	受取利息配当金収入		4,425,000	4,425,000	4,425,000	4,425,000
合 計 ①			89,533,000	82,314,000	81,972,120	81,636,000

2. 社会福祉協議会既存事業実施に伴う支出見込み（自主財源分支出）

経理区分		H22	H23	H24	H25	
支 出	法人運営事業	29,665,000	29,665,000	29,665,000	29,665,000	
	地域福祉事業	36,128,000	33,428,000	30,728,000	30,728,000	
	ボランティア活動推進事業	6,533,000	6,533,000	6,533,000	6,533,000	
	地域生活支援事業	59,000	59,000	59,000	59,000	
	福祉サービス総合支援事業（市）	168,000	168,000	168,000	168,000	
	福祉サービス総合支援事業（東社協）	2,893,000	2,893,000	2,893,000	2,893,000	
	成年後見活用あんしん生活創造事業	100,000	100,000	100,000	100,000	
	長寿を祝う会開催事業	0	0	0	0	
	恩方老人憩の家管理運営事業	218,000	218,000	218,000	218,000	
	長房ふれあい館管理運営事業	1,804,000	1,804,000	1,804,000	1,804,000	
	生活安定化総合対策事業	0	0	0	0	
	住宅手当緊急特別措置事業	0	0	0	0	
	自動販売機設置事業	10,121,000	10,121,000	10,121,000	10,121,000	
	証明写真機設置事業	18,000	18,000	18,000	18,000	
	合 計 ②		87,707,000	85,007,000	82,307,000	82,307,000

	H22	H23	H24	H25
収入① - 支出②	1,826,000	(2,693,000)	(334,880)	(671,000)

3. いきいきプラン八王子新規事業実施に伴う支出見込み（自主財源としての支出を想定）

NO.	行動内容	H22	H23	H24	H25
1	住民懇談会の開催	101,000	150,000	300,000	600,000
5	支え合いの仕組みづくり	0	100,000	30,000	30,000
6	ビジネス手法を取り入れた地域活動活性化の検討	0	-	-	-
7	地域活動入門講座の開催	0	100,000	100,000	200,000
8	テーマ別ボランティア講座の開催	545,000	545,000	645,000	645,000
9	世代別ボランティア講座の開催	0	0	0	0
10	サロン活動担い手養成講座の開催	0	50,000	100,000	100,000
11	ボランティアリーダー養成講座の開催	32,000	40,000	40,000	40,000
12	地域福祉活動コーディネートの充実	0	1,080,000	1,620,000	2,160,000
13	よろづ相談の開催	0	50,000	100,000	100,000
14	防災マップづくり	0	No1にて計上	No1にて計上	No1にて計上
15	地域防災訓練の開催	0	No1にて計上	No1にて計上	No1にて計上
16	災害時支援ボランティアコーディネーターの育成	45,000	45,000	45,000	45,000
17	会員会費を徴収した地域に一定割合還元	0	1,000,000	2,000,000	6,000,000
23	地域福祉推進協議会の設置や再編	No17にて計上	No17にて計上	No17にて計上	No17にて計上
24	本会における指定管理者制度受託のあり方検討委員会の新設	0	100,000	0	0
27	地域福祉活動推進員の配置	0	540,000	1,080,000	3,240,000
合 計 ③		723,000	3,800,000	6,060,000	13,160,000

	H22	H23	H24	H25
支出合計 (②+③)	88,430,000	88,807,000	88,367,000	95,467,000

	H22	H23	H24	H25
収入見込み（自主財源分） ①	89,533,000	82,314,000	81,972,120	81,636,000
支出見込み（自主財源分） ②	87,707,000	85,007,000	82,307,000	82,307,000
いきいきプラン新規事業支出見込み（自主財源分） ③	723,000	3,800,000	6,060,000	13,160,000
収入① - 支出② - 支出③	1,103,000	(6,493,000)	(6,394,880)	(13,831,000)